

ヒメキマダラヒカゲ

兵庫県：要注目

Zophoessa callipteris

環境省：－

種の概要

前翅長32～41mm程度。翅の表面は茶褐色で、亜外縁部に黄斑と後翅に黒斑列が目立つ。裏は黄土色で後翅の亜外縁いに眼状紋。やや深い山地樹林内や林縁、林道、山道で見られる。幼虫はミヤコザサなどのササ類を食草とし、成虫が見られるのは6～10月と長期間にわたるが、年1化の可能性が高い。



写真提供：高島昭

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

猪名川町、加西市、多可町、姫路市、市川町、神河町、相生市、たつの市、宍粟市、佐用町、豊岡市、香美町、新温泉町、朝来市、養父市、丹波篠山市、丹波市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○				

特記事項

新規追加種

近年シカの食害の影響を大きくうけた種。西播磨から但馬にかけて、山地に広く分布し、個体数も多かったが、林床のササ類が消え裸地化した区域が目立つようになり、個体数が急激に減少した。

保護上の留意点